

18. 若狭地域におけるがん検診受診行動調査と 受診勧奨の検証

○四方啓裕（福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター）

新谷明子（同上）、辻司代（同上）、玉井さをり（同上）、古澤浩子（現所属：同上 旧所属：福井県丹南健康福祉センター）、森川渚（旧所属：同上 現所属：福井県立病院）、山本由紀子（小浜市健康長寿課）、松宮朋美（同左）、越林いづみ（高浜町保健課）、村松薫（おおい町なごみ保健課）、瀧口陽子（若狭町健康課）

【目的】

がん検診が死亡率減少効果をあげるためには 50%以上の受診率を確保する事が必要であるとされているが、若狭地域におけるがん検診の受診率は 20%前後である。市町は検診の周知徹底に努めているが、従来の手法だけで住民の受診行動を変えられるとは期待できない。そこで、若狭地域の住民が、がん検診を受診することを妨げている主要な阻害要因を定量的に明らかにした上で、各々の阻害要因を取り除くための介入方法を検討し、いくつかの介入方法を実施し、どの程度の受診率改善に寄与するかを検証することとした。

【方法】

1. 受診促進・阻害要因に関する定量調査

1) 対象者の抽出

①管内での先行調査では、女性の回答率が 55%程度に対し男性では 45%程度に留まったため、本調査でも男性の回答率が低くなることと、受診回数の少ない住民の回答率はさらに低くなることが予見された。また、市町が考える未受診者には市町実施分以外のがん検診を受診した者が含まれている。本調査では回答された受診回数（以下、実受診回数という）に応じてグループ分けし、群間比較する予定であったことから、市町把握分受診回数が 0 回の住民を多めに抽出して、実受診回数が 0 回の群でも 50 人程度のサンプル数を確保できるように計画した。

②女性については、市町実施分の乳がん検診受診回数が過去 4 年間で 0 回の者 208 人、1 回の者 139 人、複数回の者 87 人の合計 434 人を対象とし、これらの人数を、管内 4 市町に人口比例で案分した。各市町は、案分された人数を、40 歳代：50 歳代：60 歳代：70~74 歳代=1：1：1：0.5 となるように無作為抽出した。

③男性については、回答率が低めになることを勘案して、抽出人数を女性の約 50%増しとし、市町実施分の大腸がん検診受診回数が過去 4 年間で 0 回の者 309 人、1 回の者 187 人、複数回の者 127 人の合計 623 人に設定し、上記に準じて抽出した。

男女別・受診歴別抽出数

	受診歴 0 回	受診歴 1 回	受診歴複数回	合計
男性 (人)	309	187	127	623
女性 (人)	208	139	87	434

市町別抽出数

	小浜市	高浜町	おおい町	若狭町	合計
抽出数(人)	457	191	135	274	1,057
構成比(%)	43.2	18.1	12.8	25.9	100.0

2) 調査票 実受診回数に加え、MIDORI モデルから導き出した準備因子（知識、態度）、強化因子を、次表の項目数の通り、無記名自記式で質問した。

	準備因子		強化因子・ 実現因子
	知識	態度	
乳がん	15	5	17
大腸がん	18	5	16
肺がん	14	5	16

3) 調査期間 平成 23 年 2 月 25 日～平成 23 年 3 月 11 日

2. 介入方法の検討と実施および検証

定量調査の結果に基づき、受診阻害要因を取り除き促進要因を普及するための介入方法を検討した。具体的介入方法を決定後、広報活動を実施中であり、その効果については、近日中に郵送アンケート式で調査する。

【結果と考察】

1. 受診促進・阻害要因に関する定量調査

回収数は 517 人、回収率は 48.9%であった。予想に反して男性の回収率は 48.3%で、女性における 49.8%と遜色がなかった。回収数は男性 301 人、女性 216 人と差がしたが、分析は男女別に行ったため性別による調整はかけていない。年代別には 40 歳代 81 人、50 歳代 133 人、60 歳代 199 人、70~74 歳 87 人、無回答 17 人となり、60 歳代の回答数が多くなった。市町間で回収率にはほとんど差はなく、抽出割合と同様の構成比となった。

	小浜市	高浜町	おおい町	若狭町	合計
回収数(人)	215	95	67	140	517
構成比(%)	41.6	18.4	13.0	27.0	100.0

実受診回数に基づくグループ分けは、下表のようになった。

		0 回受診群	1 回受診群	複数回受診群	合計
乳がん	回収数(人)	53	58	101	212
	構成比(%)	25.0	27.4	47.6	100.0
大腸がん	回収数(人)	153	109	250	512
	構成比(%)	29.9	21.3	48.8	100.0
肺がん	回収数(人)	184	73	254	511
	構成比(%)	36.0	14.3	49.7	100.0

集計・分析には EPI-Info を使用し、オッズ比を指標として関連性を分析した。

① 準備因子（知識・態度）、強化因子および実現因子と実受診回数（0回・1回・複数回）との間でオッズ比をみたところ、危険率 5%において関連性を認めたものは下表のとおりであった。「がん検診は大事である」という態度が受診行動と正の関連があり、「がんが見つかるのがこわい」という態度は負の関連があった。

〈乳がん検診〉女性のみ

		1回受診群 Vs0回受診群		複数回受診群 Vs0回受診群		複数回受診群 Vs1回受診群	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
知識	自分は乳がん検診の対象年齢である	2.98		3.04			
	「ピンクリボン運動」を知っている			1.55			
	身近な人で乳がん検診を受けている人を知っている			3.33			
態度	がんが見つかるのがこわくて検診が受けられない	0.04		0.13			
	がん検診で「異常なし」と確かめて安心したい			11.51			
	自分にとって乳がん検診は大事なことである	4.83		20.15			
強化・ 実現 因子	身近な人と一緒に検診を受けられる					2.4	
	受診を勧める通知が世帯宛てでなく自分宛てに届く			4.81			

〈大腸がん検診〉

		1回受診群 Vs0回受診群		複数回受診群 Vs0回受診群		複数回受診群 Vs1回受診群	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
知識	自分は大腸がん検診の対象年齢である	3.26		2.39			
	大腸がん検診は毎年受ける必要がある	5.44		3.10		16.1	
	身近な人で大腸がん検診を受けている人を知っている			2.31		2.93	
	身近な人で大腸がんにかかった人を知っている			2.02			
態度	がん検診についてまったく関心がない	0.12		0.26			
	がんが見つかるのがこわくて検診が受けられない					0.41	
	自分にとって大腸がん検診は大事なことである	4.79		4.66		10.5	
強化・ 実現 因子	市・町からがん検診の案内が届いたことがある	4.30		2.12			
	大腸がん検診の申込手続きが簡単である			11.58		23.0	

〈肺がん検診〉

		1回受診群 Vs0回受診群		複数回受診群 Vs0回受診群		複数回受診群 Vs1回受診群	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
知識	自分は肺がん検診の対象年齢である	2.88		3.27		3.58	
	肺がん検診は毎年受ける必要がある			14.71		4.61	
	身近な人で肺がん検診を受けている人を知っている	2.39		6.06		6.21	
態度	がん検診で「異常なし」と確かめて安心したい			4.61			
	自分にとって肺がん検診は大事なことである	5.33		8.40		6.76	
強化・ 実現 因子	肺がん検診の申込手続きが簡単である	5.35		9.74		20.29	
	検診会場でプライバシーが配慮される	3.00		3.70			
	ほかの健康診断と肺がん検診が同時に受けられる	12.44		43.87			

② 検診に対する態度と知識の間でオッズ比をみたところ、危険率 5%において関連性を認めたものは下表のとおりであった。「がん検診の対象年齢である」、「症状がなくてもがん検診を受ける必要がある」という知識は、乳がん、大腸がん、肺がんに通じて肯定的な態度や行動と関連していた。乳がん検診では「視触診と乳房 X 線撮影による

乳がん検診で、早期発見できる」、大腸がん検診では「大腸がんは早期発見すれば完治しやすい」、肺がん検診では「肺がん検診は毎年受ける必要がある」などの知識が肯定的な態度や行動と関連していた。

〈乳がん検診〉女性のみ

知識	態度	がん検診についてまったく関心がない	がんが見つかるのがこわくて検診が受けられない	がん検診で「異常なし」と確かめて安心したい	自分にとって乳がん検診は大事なことである
	自分は乳がん検診の対象年齢である			0.35	
症状がなければ検診を受ける必要はない	48.5		6.41	0.08	0.06
視触診と乳房 X 線撮影による乳がん検診で、早期発見できる			0.23		4.51

〈大腸がん検診〉

知識	態度	がんが見つかるのがこわくて検診が受けられない		自分にとって大腸がん検診は大事なことである	
		男性	女性	男性	女性
症状がなければ検診を受ける必要はない		3.71	6.41	0.10	
大腸がんは早期発見すれば完治しやすい				9.83	13.67
便潜血検査による大腸がん検診で、早期発見できる				4.66	4.85

〈肺がん検診〉

知識	態度	がん検診で「異常なし」と確かめて安心したい		自分にとって肺がん検診は大事なことである	
		男性	女性	男性	女性
自分は肺がん検診の対象年齢である		2.92		9.83	
肺がん検診は毎年受ける必要がある		8.57		10.9	8.25
肺がんは早期発見すれば完治しやすい				3.00	4.69
身近な人で肺がん検診を受けている人を知っている				5.37	6.02

2. 戦略的介入方法の検討と実施および検証

定量調査の結果に基づき、「がん検診の対象年齢である」、「症状がなくてもがん検診を受ける必要がある」という知識を重点的に普及啓発するための介入方法を研究グループ内で検討した。検討した介入方法案の中から、若狭地域・職域連携推進協議会でがん検診に対する態度を好転させるとされるものを選択し、広報戦術とツールの開発、受診勧奨を行った（『広報戦略について』参照）。今後、上記の知識がどれくらい普及され住民の態度が前向きなものに転換したかを、郵送による自記式調査で評価する予定である。

ただし、未受診者でも半数は「がん検診は大事なこと」と考えており、検診の重要性を十分理解しながらもどこで受診できるか知らない者に対しては、「端的に受診場所と受診方法のみを伝える」※ことも検討する必要がある。※参考文献「受診率向上につながるがん検診の在り方や、普及啓発の方法の開発等に関する研究」（平成 21 年度総括・分担研究報告書：主任研究者：渋谷大助）

【まとめ】

各がん検診の受診行動を左右する要因を明らかにすることができた。肯定的な態度と関連があった知識を普及し、否定的な態度と関連があった知識を取り除いて、住民のがん検

診に対する態度を好転させる必要がある。市町にも本調査の知見を取り入れた勸奨を行ってもらいながら、受診率の向上につながる広報・勸奨活動を展開していきたい。

『広報戦略について』

大戦略レベル がんの早期発見—がん検診受診率50%以上



戦略レベル

- ①住民ががん検診を受診することを妨げている誤解を取り除き、管内市町による勸奨を容易にする。
- ②5つのがん検診のうち、女性の乳がん、男女の大腸がんを優先して、50%超えの突破口を開く。
- ③従来受診率が低かった40代、50代の働き盛りの年齢層を開拓する。
- ④併せて、県および管内4市町が協調してがん検診を推進している事実を、地域住民に周知する。

戦術レベル 1

誰が：市町、商工会、若狭健康福祉センター職員
いつ：年間を通じて
どこで：イベント会場や検診会場
誰に：40～50代の男女住民
何を：
・40歳になったら検診の対象年齢であること
・症状がないからこそがん検診が必要であること


どのように：
・イベント会場にブース等を設置し、がん検診についてのチラシを置く。
・ブース近くにキャッチフレーズの入ったのぼり旗を多数立てて、人目を引く。管内のイベントで共通に使用する。
・説明要員が立つ場合、ビブスを着用して40～50代の男女を中心に呼びかける
・イベント冒頭のあいさつや会場アナウンスでも、がん検診について取り上げてもらう。
・報道に積極的に投げ込みを行い、会場へ来ない人や他市町の住民へも波及効果を狙う。

戦術レベル 2

誰が：管内に120か所ある美容院の店主や従業員
いつ：H23.10月～
どこで：美容院（周辺市町からの顧客が来る）
誰に：40～50代の女性顧客
何を：
・40歳になったら乳がん検診の対象年齢である
・症状がないからこそがん検診が必要であること
・視触診と乳房X線撮影で早期発見できる
・検診内容と問合せ先

どのように：
・美容組合長に協力を依頼後、県、市町、商工会議所・商工会の職員が各美容室を訪問して、目的と媒体の説明、顧客への声かけを依頼する。美容の待ち時間に媒体に触って見てもらう。
・関心をもった人には4市町の問い合わせ先を併記したカードを手渡してもらう。
・報道に積極的に投げ込みを行う。



【経費使途明細】

項目	内容	金額	
報償費	アルバイト代（データ入力）	800円×52時間	41,600
	アルバイト代（乳がんモデル作成）	800円×16時間	12,800
通信運搬費	切手代（受診行動調査票郵送分）	1,577通	131,445
	往復ハガキ（広報の効果判定分）	600通	60,000
消耗品費	封筒 長3 1,100枚、長40 1,100枚		6,431
	インクカートリッジ	2セット	3,970
	コピー用紙（A4）	1箱 5,000枚	2,890
	ビブス	1,575円×20枚	31,500
	カラーインク	1箱 5色セット	3,980
	リーフレット「乳がんを予防しましょう」	1,050円×20冊	21,000
	手数料	ビブス代振り込み手数料	
合計			316,351